

みなさま、こんにちは！いつも応援ありがとうございます。  
エコチル調査メールマガジン 第75号をお届けします。

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■  
▼ 最新論文情報  
■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

今年度、報道発表されたエコチル調査の成果についてご紹介します。  
なお、各研究で示された見解はいずれもそれぞれの著者ら自らのものであり、環境省の見解ではありません。

●エコチル調査の約2万人のデータから、妊婦の血中鉛濃度と妊婦のうつ症状との関連について調べた論文が、令和2年6月15日に国際的学術誌「Neurotoxicology」に掲載されました。詳しくは下記HPを御覧下さい。論文概要と報道発表内容がご覧になれます。  
<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/news/18907070959.html>

●エコチル調査の約10万人のデータを用いて、妊娠期における母親の殺虫剤・防虫剤の使用と新生児の体重・身長との発達との関連について調べた論文が、令和2年6月26日に公衆衛生学分野の学術誌「International Journal of Environmental Research and Public Health」に掲載されました。  
<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/news/21307311224.html>

●エコチル調査の61,751人の妊婦さんのデータを用いて、母親の妊娠中の殺虫剤・防虫剤の使用と児の高ビリルビン血症との関連について調べた論文が、令和2年8月5日に小児科学分野の学術誌「Pediatric Research」に掲載されました。  
<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/news/24509015600.html>

●エコチル調査の17,584組の妊婦さんとその赤ちゃんのデータを用いて、妊娠中の母親の血中カドミウム濃度と新生児の出生時体重、身長、頭囲及び胸囲との関連について男女別に調べた論文が、令和2年9月20日に環境保健の国際専門誌である「Environmental Research」に掲載されました。  
<https://www.env.go.jp/chemi/ceh/news/27610022547.html>



エコチル調査からのお知らせ



エコチル調査では、環境中の化学物質が子どもの健康に与える影響を明らかにすることを目的に、約10万組の参加者さま（親子）から収集させていただいた貴重なデータを解析し、研究を進めております。

エコチル調査ホームページの「成果発表一覧」では、調査で明らかになってきた結果を順次公開しています。

成果発表一覧ページはコチラ

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/results/publications.html>

今後も、調査で明らかになってきた結果を順次お伝えして参ります。

★サポーターの皆様へのお願い★

あなたの身近な人にエコチル調査をお知らせいただけませんか？

10万組もの方々に参加を続けていただくためには

一人でも多くの人に、エコチル調査を知っていただく必要があります。

子どもたちの健やかな未来のために、ぜひご協力をお願いいたします。

○エコチル調査ホームページ

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html>

○メールマガジンのバックナンバーはこちら

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/magazine/backnumber.html>

○メールマガジンの配信停止

下のアドレスへ空メール（タイトル、本文未入力）を送信してください。

[ecochildteishi@ecochil.go.jp](mailto:ecochildteishi@ecochil.go.jp)

○配信先メールアドレスの変更をご希望の方は、

新しいメールアドレスで再度サポーター登録をお願いします。

<http://www.env.go.jp/chemi/ceh/supporter/individual.html>

---

発行／編集

環境省 大臣官房 環境保健部 環境安全課 環境リスク評価室  
エコチル調査担当

---

※このメールアドレスは配信専用です。